

# 鹿屋市立寿北小学校

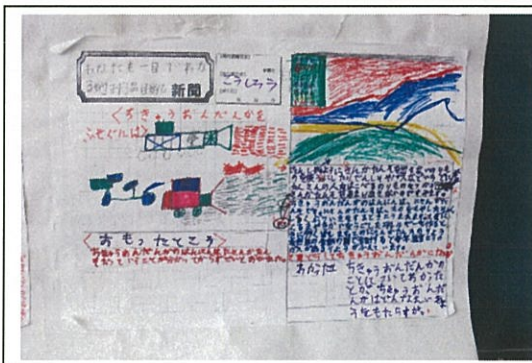
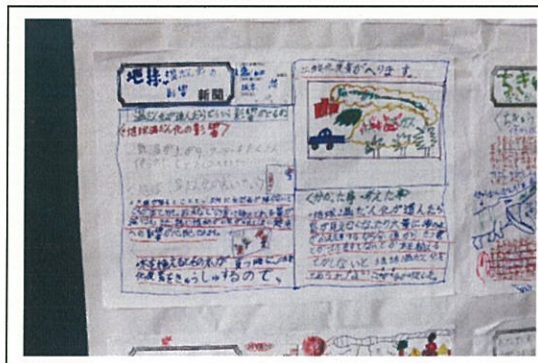
(様式 4-2 : 平成 28 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称 : 環境教育					
2. テーマ : わたしのたちの町を知ろう					
3. 実施教科 : 総合的な学習の時間					
4. 関連単元 :					
5. 実施単元数 : 32時間					
6. 学年	3年	7. クラス数	4クラス	8. 生徒数	147名
9. 実施内容 <p>自分たちの生活の中から出るゴミ問題が地球環境を悪くしていることについて考え、そこから、鹿屋市ではどのようにゴミの分別がされているかについて調べた。また、環境を悪くしているのは、二酸化炭素を排出している工場や自動車も大きく関わっていることから、リサイクル工場を見学するために公共交通機関を利用した。</p>					

## 10. 学習のながれ：

- ① 私たちの生活の中で出るゴミが、生活環境を悪くしていることについて考える。
- ② 生活から出るゴミの分別の必要性を理解させ、自分の住んでいる町のゴミぶんべつについて調べる。
- ③ 鹿屋市のゴミ分別についてまとめる。
- ④ リサイクル工場でリサイクルの仕方を調べてくる計画を立てる。
- ⑤ 生活環境を悪くしているのは、ゴミ問題だけでなく、大気汚染が地球温暖化に深く関わっていることに気付かせる。そして、自家用車だけを利用するのではなく歩いたり、自転車または、公共交通機関を利用したりすることで、二酸化炭素の排出削減について考えさせる。
- ⑥ 公共交通機関を利用して、リサイクル工場の見学を行う。
- ⑦ リサイクル方法についてまとめる。
- ⑧ グループ毎にテーマを決め、インターネットや資料を使い、リサイクルについて詳しく調べ発表準備を行う。
- ⑨ リサイクルや環境問題について発表する。



## 【成果】

- ① リサイクル工場の見学をしたことで、ゴミが大量に出ていることを知り、ゴミ問題についての意識を高めることができた。
- ② 生活の中から出ているゴミの分別方法を調べ、住んでいる町に合ったゴミ分別の必要性を学習できた。
- ③ 私たちの生活の中からたくさんの二酸化炭素が排出され、地球温暖化に繋がっていることが理解できた。
- ④ 公共交通機関を利用することで、二酸化炭素の排出量を減らし、地球温暖化を防ぐことが理解できた。